のこれ為て伊時人の主を惑け敵をでられ久しきも一代
為るをも忘ず一家出羽國に内の安堵の内上杉景勝
公の侍大将直江山城守兼続と地名を決する刻敵大
部なる故に四十三騎にて討死せられ其時重長も当年
の行年二十五歳にて高名され錦繡を飾く出られ老き者生られぬ
と云へり中山玄蕃は切腹して其跡相州石塚に葬りて
七寸大幅地塔ばかり部分の刀を建て弔慰追加之

高橋山夜軍 最上勢敗北之事

中山玄蕃は牧野の高人児女なるは中の年を打捨て
最上へ訪問の事生前の誓を定めまで打送て暇乞
してを経五十餘騎にて六十里切を駆て行向く
急きけるに者ども有に有の時新手の内より武者共
斗向の切を四方敵より打て上るに遂に中間下
部走隠りて行く先陸五町斗なるべ玄蕃供を是
らして進人ぞ訪問のに為が賜なるぞ出国道中先と
いひけるとぞ是を先地事生の住人高林四郎同新
左衛門尉の足軽より起まれ急ぎ法御廻り出て